



ザンビアの経済概況・月報(2017年5月)

主なマクロ経済指標	2016年	2017年
1. 人口 (百万人)	16.21(2015)	-
2. 人口増加率 (%)	3.11 (2015)	-
3. 失業率 (%)	7.4(2014)	-
4. 平均寿命 (年齢)	50.5(男性)/53.8(女性)	-
5. GDP (百万米ドル)*1	21,154(2015)	-
6. GDP成長率 (%)	2.9(est)	4.0(proj)
7. 一人当たりGNI (米ドル)	1,490(2015)	-
8. インフレ率 (%)	18.2	6.5(May)
9. 消費者物価指数 (2009年=100)	183.66	194.62(May)
10. 貿易収支 (百万米ドル)	325.0(est)	-89.36*2
11. 対日貿易収支 (百万米ドル)	-22.90*4	19.51*3
12. 輸出 (総額, 百万米ドル)	7,036.0	2,542.99*2
13. 対日輸出 (百万米ドル)	24.13*4	35.13*3
14. 輸入 (総額, 百万米ドル)	6,710.0	2,632.35*2
15. 対日輸入 (百万米ドル)	47.03*4	15.62*3
16. 経常収支 (百万米ドル)	-932	-
17. 対外直接投資 (百万米ドル)	-283 (2015)	-
18. 対内直接投資 (百万米ドル)	1,653(2015)	-
19. 金・外貨準備高 (百万米ドル)	2,195(est)	2,430(proj)
20. 対外債務残高 (百万米ドル)	8,785(2015)	-
21. 為替レート (対米ドル)	9.81ZMW (end-period)	9.26ZMW(May)
22. 主要政策金利 (現行, 年利%)	13.0	12.5

※()内の年月は、その年あるいは月の確定値／予測値。 ※小数点第3位以下四捨五入

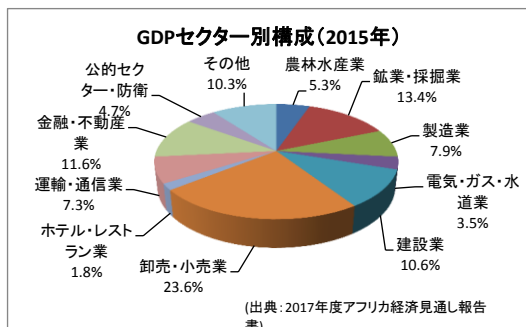
*1	GDP at market prices (Current USD)
*2	2017年1月から4月までの貿易額。1USD=9.68ZMW(2017年4月までのザンビア中央銀行為替相場月間平均)を用いて換算
*3	2017年1月から4月までの貿易額。1USD=113円(2017年4月までの日銀基準外国為替相場月間平均)を用いて換算
<2017年4月>	
主要輸出品目: 銅／金(半製品)／発煙硫酸／メイズ／天然の炭酸マグネシウム	
主要貿易相手国(輸出): スイス 45.1%, 中国 22.2%, シンガポール 6.4%, コンゴ(民) 6.0%, 南アフリカ 5.3%, その他 14.9%	
主要輸入品目: 銅／機械パーツ／鉱物性肥料及び化学肥料／石油及び歴青油(原油に限る。)／航空機・ヘリコプター部品	
主要貿易相手国(輸入): 南アフリカ 23.9%, 中国 22.4%, コンゴ(民) 18.0%, モザンビーク 7.5%, クウェート 7.1%, その他 21.2%	
*4	1USD=111円(2016年(平均値)の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
<出典> 1, 2, 5-7, 20:World Bank／3: Zambia Labour Force Survey Report, 2014 (CSO& Ministry of Labour and Social Security)／4, 16:The World Factbook (CIA)／8, 9, 10, 12, 14: Monthly Bulletin (CSO) & EIU Country Report／19, 21(2016): Country Report (EIU)／11, 13, 15:日本国財務省貿易統計／17, 18:UNCTAD／21(2017), 22:Bank of Zambia	

<ザンビアの税制度～鉱業関連～>

(出典:ザンビア歳入庁(ZRA), ザンビア採掘産業透明性イニシアティブ(ZEITI))

- 法人税(Corporate/ Company Tax):** 35%。
ルサカ証券取引所に上場している企業は30%。
- 付加価値税(VAT):** 16%。
- 採掘権料 (Mineral Royalty):**
4-6%(ロンドン金属取引所(LME)の銅価格に応じて変動)。
- 関税及び消費税(Customs & Excise Duty):**
関税は商品(コモディティ)毎により、0-25%と異なる。鉱業の資本設備に関しては免税(ゼロ関税)。鉱石のまま輸出する場合には15%課税される。
- 源泉徴収税(Withholding Tax):** 15%。

※鉱業権を有する者は、採掘や鉱業関連の活動に必要とされる全ての機材に係る関税、消費税、及びVATを免除される。



主要な経済ニュース(5月)

1. “FQM, 2017年第1四半期に13万2,000トンの銅を産出”(Daily Nation, 1日)
ファースト・カンタム・ミネラルズ(FQM)社は、2017年第1四半期に、2016年同期比11%増の13万2,356トンの銅を産出した旨を発表した。同記録は、ソルウェジのカンサンシ鉱山及びセンチネル鉱山の算出増を背景としたもの。一方、NewallFQM社社長は、センチネル鉱山が完全操業であったこと及び同四半期の間にザンビアが雨季であったことなどの要因によって、銅の生産コストが同四半期中に上昇した旨発言した。

2. “2016年のザンビアGDPが2,168億2,630万クワチャに増加”(Daily Nation, 2日)
カルンビ・ザンビア中央統計局(CSO)局長は、月例の記者会見にて、2016年のザンビアのGDP(名目)が、2015年比18.2%増の推計2,168億2,630万クワチャである旨発言した。同局長は、GDPの主要構成比が以下のとおりである旨発言した。①小売り・卸売業:22.0%、②鉱業・採石業:12.0%、③建設業:10.9%、④教育関連:7.7%。

3. “KCM, 900名の労働者を呼び戻す”(Daily Mail, 4日)
コンコラ・コッパ・マインズ(KCM)社は、客年9月にンチャング鉱山が操業再開したことを受けて、以前同鉱山で勤務していた同社の鉱山労働者581名を他部署から呼び戻し、他社の契約業者411名の休暇付与状態を解除した旨を発表した。ディンKCM社CEOは、現在の資源価格低迷期においても、ンチャング鉱山操業が経済的に継続出来る旨の技術評価がなされ、操業再開を決定した旨発言した。

4. “電気料金が値上げ”(Daily Mail, 11日)
エネルギー規制委員会(ERB)は、ザンビア電力公社(ZESCO)が提案した75パーセントの電気料金の値上げを承認した。ヤンバERB委員長代行(「ヤ」代行)は、電気料金の値上げは、鉱山企業以外の全カテゴリーに適用され、今月15日に50%の値上げを開始し、その後、本年9月1日付で、さらに25%電気料金を値上げする旨発言した。「ヤ」代行は、鉱山企業の電気料金については、ZESCOと企業との間で交渉中であり、両者の間で合意に達した際に解決策がERBに提示されるであろう旨発言した。

5. “ザンビア中銀、貸付金利を引き下げ”(Times, 18日)
ザンビア中央銀行は、標準貸付金利を14%から12.5%に引き下げ、同時に法定準備率を15.5%から12.5%まで引き下げた。カリリヤ・ザンビア中央銀行総裁(「カ」総裁)によれば、この引き下げは、継続するインフレ率の低下、高い貸付金利及び経済成長の鈍化を金融政策委員会が考慮に入れた結果である。「カ」総裁は、最近の政府による歳入金増加の措置とともに、エネルギー分野における補助金への取組のための措置は、財政赤字の削減に重要であり、財政強化の努力に合致するものである旨発言した。

6. “ザンビア政府、より良いビジネス環境に向けた改革を実施”(Times, 18日)
ウィナ大統領代行は、ザンビア政府が産業化に向けたビジネス環境向上のための改革に乗り出している旨発言した。17日、同大統領代行は、ザンビア政府による取組が同国のビジネス環境改善を通じて結実している旨発言した。これらの発言は、リビングストンにて開催中の第8回Ease of Doing Business Initiative (EDBI)会議におけるムワナカトウエ商業貿易産業大臣が代読したスピーチ内の発言である。

7. “ムタティ財務大臣「IMF支援プログラムが進捗」”(Daily Mail, 18日)
ムタティ財務大臣は、ザンビア政府が、経済安定・成長プログラム(「ザンビアプラス」)に関するIMFとの協議に本年7月に合意すると述べ、エネルギー規制委員会(ERB)による電気料金値上げから、電力の主要な消費者である鉱山企業は除外されないと述べた。さらに同大臣は、IMFとザンビア政府との交渉は順調に進んでおり、支援パッケージについては政府が雇用と賃金の凍結をもたらすような望ましくない条件にはならないと確認した。

8. “世銀、6億米ドルをザンビアに支援”(Times, 20日)
19日、ディオップ世銀アフリカ地域担当副総裁(「ディ」副総裁)は、ルング大統領を表敬訪問した際に、ザンビアの開発プログラムを支援すべく、世銀が向こう3年間で6億米ドルの拠出が可能である旨発言した。チャング大統領特別補佐官は、農村部のインフラアクセス支援に2億米ドルが拠出されること、及び、ザンビア国家予算へ直接的な支援に1.5億米ドルが確保された旨発言した。「ディ」副総裁は、ムタティ財務大臣がIMF及び世銀に提示した経済プラン(「ザンビアプラス」)を世銀が満足している旨発言した。